

制 定 2011年 1月 1日

改 定 2015年 4月 1日

## 安全データシート (SDS)

### 1. 製品及び会社情報

(1) 製品の名称 JIS G 3112 鉄筋コンクリート用棒鋼

(2) 会社情報

会社名 株式会社 向山工場

住所 本社 埼玉県川口市幸町 3-9-1 Mビル

工場 埼玉県久喜市河原井町 1

(3) 発行者、問合わせ先

担当部門 技術管理部 品質管理課

連絡番号 電話 0480-22-8555 FAX 0480-22-8665

### 2. 危険有害性の要約

(1) GHS 分類区分 : GHS 分類区分に該当しない。

(2) 危険有害性 : 現在のところ危険有害性に係わる情報はない。

ただし、取り扱いに関しては以下の点に注意する。

- ・ 重量物である為、転倒、荷崩れ、落下等
- ・ 切断端面、切削屑等による皮膚への切傷
- ・ 溶接、溶断、研磨等にて発生した粉塵、ヒュームによる呼吸器、眼、他の粘膜等への刺激

### 3. 組成及び成分情報

(1) 化学物質・混合物の区分 : 混合物 (合金鋼)

(2) 主な成分

成分	含有量(%)	CAS番号	ICSC番号	安衛法番号	GHS番号
鉄 【Fe】	残量	7439-89-6	—	—	—
マンガン 【Mn】	1.80以下	7439-96-5	174	550	200
銅 【Cu】	1.00以下	7440-50-8	240	379	850
ニッケル 【Ni】	0.60以下	7440-02-0	62	418	169
クロム 【Cr】	1.00以下	7440-47-3	29	142	108

注 1. CAS: Chemical Abstracts Service (アメリカ化学会が運営・管理する化学物質登録システム)

2. ICSC: International Chemical Safety Cards (国際化学物質安全性カード)

3. 安衛法: 労働安全衛生法 (施工令第十八条の二)

4. GHS: Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals (化学品の分類および表示に関する世界調和システム)

成分は、上記範囲において、製品の規格、種類により異なる。

上表の成分以外に、珪素【Si】、燐【P】、硫黄【S】等の微量元素を含む。

#### 4.応急処置

通常状態では個体であり、一般的な環境下では応急処置が必要な事態は発生しない。  
ただし、加工（溶接、溶断、研磨等）にて発生した粉塵、ヒュームを吸引、飲み込んだ場合及び、皮膚に付着した場合は、下記の応急措置の後、必要に応じ医師の診断を受ける。

- 吸引した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息する。
  - 飲み込んだ場合 : 多量の水で口内をよく洗浄する。
  - 皮膚に付着した場合 : 速やかに多量の水と石鹼で洗浄する。
  - 目に入った場合 : 速やかに水で注意深く洗浄する。
  - その他 : 切断端面、切削屑等により皮膚を傷つけてしまった場合、傷口を清潔に保つ。  
アーク等により火傷をした場合は患部を冷やす。
- 

#### 5.火災時の措置

通常状態では固体の為、不燃性であり、周辺の火災においても消火器、水による消火を行っても問題ない。

- 消火剤：制約なし（火災状況に応じた消火剤を使用）
  - 使ってはならない消火剤：情報なし
- 

#### 6.漏出時の措置

通常状態では個体であり、一般的な環境下では漏出しない。  
尚、加工（溶接、溶断、研磨）等により発生した粉塵、ヒュームは下記に示す処置を実施すること

- 人体に対する注意事項 : 適切な保護具を着用し、粉塵、ヒュームの吸入や眼への侵入を防ぐ
  - 環境に対する注意事項 : 切断、研磨等の加工により発生した粉塵等は速やかに回収する。
  - 封じ込め及び除荷の方法及び機材 : 発生した粉塵類は吸引器等を使用し速やかに回収した後、適切に処理する。
- 

#### 7.取り扱い及び保管上の注意

##### (1)取り扱い上の注意

- 技術的対策 : 溶接、溶断、研磨等の加工を行い、粉塵、ヒュームが生じる場合は、適切な保護具を着用し、必要な局所排気、全体換気行う。
- 安全取扱い注意事項 : 重量物の為、転倒、荷崩れ、落下等に注意する。  
切断端面、切削屑等により皮膚を傷つける場合がある為、取り扱い時は保護手袋を着用する。

##### (2)保管上の注意

- 水との接触、酸、アルカリ若しくはそれらを含んだ物質との接触を避ける。
- 高温多湿の環境を避ける。必要であれば、雨水浸透防止、錆防止の為のシート、カバー、梱包等を行う。
- \*保管上の注意事項は、品質劣化を防止する為の処置であり、未実施の場合でも危険有害性物質の発生は無い。

## 8.ばく露防止及び保護措置

通常状態では個体であり、一般的な環境下では、ばく露防止及び保護措置に該当する有用な情報は無い。

ただし、溶接、溶断、研磨等の加工にて粉塵、ヒュームが発生し、眼や皮膚への接触、吸入及びアークや切削屑等から保護する為、下記の設備対策、保護措置を実施する。

### (1)設備対策

換気対策を実施し、適切な作業環境を確保する

### (2)保護具

呼吸器の保護 : 防塵マスク等、適切な呼吸器保護具を着用する。

眼の保護 : 保護眼鏡、ゴーグル、顔面シールド等、適切な保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護 : 保護衣、安全靴等、適切な保護具を着用する。

手の保護 : 適切な保護手袋（布、皮等）を着用する。

---

## 9.物理的及び化学的性質

物質的状态、形状、色等 : 銀白色の固体

臭い : 金属臭

融点 : 1500℃以上

比重（相対密度） : 約 7.8 g/cm<sup>3</sup>

溶解度 : 水に不溶

---

## 10.安定性及び反応性

安定性 : 一般環境下では安定している。

危険有害反応可能性 : 酸と接触すると有害なガスを発生させる可能性がある。

避けるべき条件 : 高温多湿状態

混触危険物質 : 強酸、強アルカリ

危険有害性のある分解生成物 : 溶接、溶断、研磨等の加工時に発生する粉塵、ヒューム

---

## 11.有害性情報

現在のところ、有害性に関する情報は無い。

ただし、加工（溶接、溶断、研磨等）時に発生する粉塵、ヒューム等は呼吸器に物理的な刺激や障害を起こす可能性が有る。

---

## 12.環境影響情報

現在のところ、有用な環境影響に関する情報は無い。

---

## 13.廃棄上の注意

鉄スクラップとしてリサイクル可能な為、廃棄物に該当しない。

---

## 14.輸送上の注意

輸送に関する、国際規制対象物質に該当しない。

15.適用法令

労働安全衛生法

化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）

---

16.その他の情報

参考文献

－JIS Z 7253:2012 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（SDS）

－安全衛生法便覧 平成 25 年度版

－GHS 対応－化管法・安衛法におけるラベル表示・SDS 提供制度  
（平成 24 年 10 月 経済産業省，厚生労働省）

---

備考

本データシートは、製品の危険有害面からの安全な取扱を確保するための「参考情報」として作成時点で当社の有する情報を取扱事業者に提供するものです。

取扱事業者は、この情報を参考に、自らの責任において用途・用法に適した安全対策を講ずることが必要であることをご理解のうえご活用願います。